

主要施策名:(3)循環型社会の形成

事務事業本数:3

基本目標(章)	主要施策(節)	施策区分	事務事業コード	事務事業	所管課
①自然と暮らしを守るふるさとづくり	(3)循環型社会の形成	(1)ごみ分別収集の推進	131-1	一般廃棄物適正処理事業	環境整備課
		(2)循環型社会システムの構築	132-2	ごみリサイクル・減量化事業	環境整備課
			130-1	し尿処理施設等管理運営事業	環境整備課

# 事務ふりかえりシート

## 《基本情報》

事務事業の名称 [1]	一般廃棄物適正処理事業		所管課 [2]	環境整備課	
			作成者(担当者)	塚本昭広	
総合計画での位置付け [3]	基本目標(章)	①自然と暮らしを守るふるさとづくり			重点 施策 [4] <input type="checkbox"/> 該当
	主要施策(節)	(3)循環型社会の形成			
	施策区分	(1)ごみ分別収集の推進			
実施の根拠 (複数回答可) [5]	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 0 千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 玉名市廃棄物の処理及び清掃並びに浄化槽に関する条例 】 <input type="checkbox"/> その他の計画【 】 <input type="checkbox"/> 該当なし				
事業区分 [6]	<input type="checkbox"/> ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務				
会計区分 [7]	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 】 款 4 項 2 目 2 細目 1				

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) [8]	市内から排出される一般廃棄物の分別・収集・運搬・再生・処分等は市の責務とされている。
対象 (誰、何に対して、受益者等) [9]	市民、事業者、家庭からの一般廃棄物、事業系一般廃棄物、不法投棄された一般廃棄物
意図 (どのような状態にしたいか) [10]	市民が安心して家庭からの廃棄物を排出できるよう廃棄物収集業者等と密に連絡を取り合いながら適正な処理を行い、また、不法投棄等をさせないよう啓発等に努め市内の環境の整備を図る。

## 《事務事業の概要》

事業期間 [11]	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】
事業主体 [12]	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】
実施方法 [13]	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】
事務事業の具体的内容 [14]	・家庭からの廃棄物の収集運搬について廃棄物処理業者に対し委託を行う。また、収集や分別に関し助言、協議を行う。 ・不法投棄に対し、市内を分割し各廃棄物処理業者に地区巡回や回収を委託する。 ・不法投棄に対し、投棄された地権者等に対し助言や指導を行い不法投棄等されにくい環境づくりを行う。 ・事業所から排出されるごみについて、収集運搬を行う廃棄物処理業者に対し、市内での活動に対し許可を与える。
	【15】 事務事業を構成する細事業(5)本 ① 廃棄物収集運搬委託業務 ② 不法投棄処理委託業務 ③ 不法投棄対策事業

## 《事務事業実施に係るコスト》

		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	H31年度予算	全体計画
投入コスト	事業費(千円)	国庫支出金	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0
		その他	67,837	73,017	75,823	10,091
		一般財源	86,380	81,017	78,858	153,052
	小計 [16]	154,217	154,034	154,681	163,143	
		[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0	0	0	
	職人 員 件 の 費	職員人工数	0.25	0.47	0.77	0.77
		職員の年間平均給与額(千円)	5,925	5,896	5,896	5,896
		小計 [17]	1,481	2,771	4,540	4,540
合計	155,698	156,805	159,221	167,683		

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画
① 廃棄物収集運搬委託業務	委託業者により家庭ごみの収集・運搬を行う。	収集運搬日数	日	248	250	252	253
② 不法投棄処理委託業務	委託業者6社により不法投棄物の巡回と回収を行う。	巡回日数	日	145	144	145	144
③ 不法投棄対策事業	不法投棄防止のため相談・巡回・看板設置等を行う。	看板設置数	日	34	17	27	20

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	H31年度予算
	対象( 市民 )	67577	67242	66850	66319
	投入コスト合計(千円)	155,698	156,805	159,221	167,683
	対象1単位あたりのコスト(千円)	2	2	2	3
コスト評価(対前年比)	***	98.80%	( ↓ )	97.91%	( ↓ )

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標
			H28実績	H29実績	H30実績	H31実績
1 不法投棄回収量	委託業者6社による不法投棄ごみの回収量	t	4.54	2	2	2
2 家庭ごみ収集運搬量	年間に収集運搬した家庭ごみの量	t	1.98	2.35	3.32	17000
			16780	16750	17000	17000
* 成果未達成時の理由		目標に対しては成果未達成となっているが、前年度からの比較においては減量している。				

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い c
	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input type="checkbox"/> ・設定できない理由( ) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	特になし		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	総合判定	C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	今後も引き続きごみ減量化に向け分別の徹底等の啓発活動を根気強く行っていく。		
次年度への予算反映(連動)	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【27】	廃棄物処理実施計画に基づき、廃棄物収集業者等と連携し分別と減量化を啓発し指導を徹底するとともに、適正処理を行うことが重要である。また、不法投棄の巡回監視を行うことで発生の抑止に努めるとともに、土地管理者に対する適正管理の啓発を継続して行う必要がある。	評価責任者 平川伸治
-------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------



《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画
① ゴミ袋作製委託業務	ゴミ袋を委託により作成し、商工会議所等に販売を委託する。	ゴミ袋作成枚数	千枚	3526	3298	3430	3933
② 生ゴミ処理機等購入費補助事業	生ゴミ処理機やコンポストの購入等に対し補助金を交付する。	補助金交付件数	件	45	33	23	35
③ ゴミ収集カレンダー等作成業務	ゴミ収集カレンダー等を委託により作成し各世帯に配布する。	ゴミ収集カレンダー作成部数	部	33100	33100	33100	33100

《コスト評価による年度比較》 [19]

コスト評価	H28年度決算		H29年度決算		H30年度決算		H31年度予算	
	対象( 市民 )	67577	67242	66850	66319			
投入コスト合計(千円)	61,419	62,811	65,271	69,903				
対象1単位あたりのコスト(千円)	1	1	1	1				
コスト評価(対前年比)	***	97.30%	( ↓ )	95.67%	( ↓ )	92.63%	( ↓ )	

《事務事業の成果》 [20]

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標
			H28実績	H29実績	H30実績	H31実績
1 ゴミ資源化率	資源ゴミ収集量/ゴミの全体収集量	%	11	10	10	10
			9.7	7	6.4	
2						

\* 成果未達成時の理由 資源物収集においては、多少の残差が発生するため。

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 [21]	<input type="checkbox"/>	市が実施するよう法令等で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	
効率性 [22]	<input type="checkbox"/>	市が事業へ関与する必要が薄れている	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	
有効性 [23]	<input type="checkbox"/>	利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	
公平性 [24]	<input type="checkbox"/>	事業開始当初の目的から変化してきている	公平性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	事業開始当初の目的から変化してきている	
		厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	
		コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	
		直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
		民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	
		電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある	
		サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	
		現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	
		成果指標を設定している	
		成果指標の目標値を達成した	
		現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	
		手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる	
		法定事務であり成果は求めにくい	
		事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	
		事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している	
		国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	
		受益者負担がある ⇒ 金額が妥当 □ 金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】	
		受益者負担が無い ⇒ □ 設定できる □ 設定できない理由( )	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 [25]	ゴミの量が増加傾向にあることからゴミ出しカレンダー等でゴミ分別の徹底を図ったが微増傾向が続いている。		
今後の方向性 [26]	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 総合判定 C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	ゴミの量が増加傾向にあることから、引続き、ゴミカレンダー等による分別方法の徹底の継続と生ゴミの水切り等(3きり運動)の周知を行いゴミ減量化を図っていく。		
次年度への予算反映(連動)	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄

評価責任者(課長)の所見 [27]	循環型社会を実現するために、ゴミ出しカレンダーや啓発チラシ等を配布することで、ゴミ分別意識の徹底を継続して行う必要がある。また、生ゴミ処理機等の購入費の一部を補助することでゴミの減量化に努める。	評価責任者 平川伸治
-------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------

事務ふりかえりシート

《基本情報》

Table with 7 main rows for basic information: 1. Name (し尿処理施設等管理運営事業), 2. Department (環境整備課), 3. Objectives (Natural and daily life, Circular society), 4. Budget (0千円), 5. Category (Mandatory business), 6. Accounting (General accounting).

《事務事業の目的》

Table with 3 rows for purpose: 8. Background (Reduction of sewage sludge), 9. Targets (Citizens, sludge), 10. Intentions (Proper management and preparation).

《事務事業の概要》

Table with 5 rows for overview: 11. Period (Single year), 12. Main body (Municipality), 13. Implementation method (Direct), 14. Specific content (Water protection, waste management), 15. Sub-businesses (Water protection, public toilet management).

《事務事業実施に係るコスト》

Cost breakdown table with columns for years (H28-H31) and rows for investment costs (Construction, etc.) and personnel costs (Staff, etc.), ending with a total row.



《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画
① 水の守運転管理業務	委託業者により水の守の運転管理を行う。	受入日数	日	295	295	294	295
② 公衆便所管理業務	委託業者により公衆便所の清掃管理を行う。	清掃回数(4カ所延べ回数)	回	520	520	520	520
③ 一般廃棄物処理(し尿)・浄化槽清掃業許可業務	一般廃棄物処理業者・浄化槽清掃業者の許可を行う。	許可件数	件	0	4	0	4

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H28年度決算		H29年度決算		H30年度決算		H31年度予算	
	対象( 市民 )	67577	67242	66850	66319			
投入コスト合計(千円)	151,806	156,887	158,857	154,535				
対象1単位あたりのコスト(千円)	2	2	2	2				
コスト評価(対前年比)	***	96.28%	( ↓ )	98.18%	( ↓ )	101.98%	( ↑ )	

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標
			H28実績	H29実績	H30実績	H31実績
1 し尿・浄化槽汚泥処理量	し尿・浄化槽汚泥の搬入量	m <sup>3</sup>	—	15700	15690	16225
2			15691	15690	15839	

\* 成果未達成時の理由 目標値より実績が大きくなっているが浄化槽法で規定されている年1回以上の清掃を行っている基数が増加していると考えられるため好ましい実績かと思われる。

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果	
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/>	市が実施するよう法令等で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い	
	<input type="checkbox"/>	法令等で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす		
効率性 【22】	<input type="checkbox"/>	市が事業へ関与する必要が薄れている	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い	
	<input type="checkbox"/>	対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている		
有効性 【23】	<input type="checkbox"/>	利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い	
	<input type="checkbox"/>	現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である		
公平性	<input type="checkbox"/>	事業開始当初の目的から変化してきている	公平性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い	
	<input type="checkbox"/>	事業開始当初の目的から変化してきている		
		<input type="checkbox"/>	厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	
		<input type="checkbox"/>	コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	
		<input type="checkbox"/>	直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
		<input type="checkbox"/>	民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	
		<input type="checkbox"/>	電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある	
		<input type="checkbox"/>	サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	
		<input type="checkbox"/>	現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	
		<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標を設定している	
		<input type="checkbox"/>	成果指標の目標値を達成した	
		<input type="checkbox"/>	現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	
		<input type="checkbox"/>	手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる	
		<input type="checkbox"/>	法定事務であり成果は求めにくい	
		<input type="checkbox"/>	事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	
		<input type="checkbox"/>	事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している	
		<input type="checkbox"/>	国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	
		<input type="checkbox"/>	受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> 金額が妥当 <input type="checkbox"/> 金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】	
		<input type="checkbox"/>	受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> 設定できる <input type="checkbox"/> 設定できない理由( ) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	特になし		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小して継続
	<input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input type="checkbox"/> 休止・廃止	総合判定 C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	水の守については供用開始から6年が経過し気化器設備等の消耗品取替などが発生し始めているが計画的にメンテナンスを行い適正な管理に努める。 公衆便所については現状市民が使用しやすい状態にあるので良好な状態で維持管理を行う。		
次年度への予算反映(連動)	<input type="checkbox"/> 増額 (細事業名)		
	<input type="checkbox"/> 減額 (細事業名)		

■ 評価責任者記入欄 ■

評価責任者(課長)の所見 【27】	し尿及び浄化槽汚泥処理は、地域の衛生・水環境を守るため今後も継続すべき事業であり、許可業者により搬入される水の守(し尿処理場)の委託により管理業務を行うとともに、市内に4カ所ある公衆トイレの維持管理を行う。	評価責任者 平川伸治
-------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------